

農 研 速 報

令和4年7月20日発行

茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(7月15日現在、龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月27日	「あきたこまち」 穂揃い期 「ふくまるSL」 出穂期 「コシヒカリ」 減数分裂期～ 穂ばらみ期	「あきたこまち」 平年並 (出穂期) 「ふくまるSL」 平年並 (出穂期) 「コシヒカリ」 平年並 (幼穂長からの 出穂期の予測)	<p>◇4月第6半旬～7月第3半旬は、平均気温は平年差+0.6℃、日照時間は平年比112%で推移した。</p> <p>◇出穂期は、「あきたこまち」は7月11日で平年並、「ふくまるSL」は7月15日で平年並である。また、「コシヒカリ」は、7月15日時点の幼穂長は149.0mmであり、今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は7月23日頃である。</p> <p>◇各品種の生育について、「あきたこまち」は、草丈がやや高く、茎数が平年並、葉色が濃い。「ふくまるSL」及び「コシヒカリ」は、草丈及び茎数が平年並、葉色が濃い。</p> <p>◆今後の栽培管理</p> <p>(1)降雨・日照不足の影響でいもち病の発生が懸念される。茨城県農業総合センター病害虫防除部の「病害虫速報」を参考に適切に防除を行う。</p> <p>(2)出穂期までは各品種とも3～4日間隔で入水と自然落水を繰り返す間断かんがいを行う。出穂期以降から落水時期までは、2～3日で水がなくなる程度に入水し、自然落水後、田面が乾く前に入水する作業を継続する。</p> <p>(3)登熟期の早期落水は乳白粒や胴割粒などを発生させるため注意する。落水時期の目安は、「あきたこまち」が出穂期後25日、「コシヒカリ」が出穂期後30日である。</p> <p>(4)斑点米カメムシ類の成虫を対象とした防除適期は穂前期である。穂前期に成虫を確認した場合は防除を行う。また、幼虫を対象とした防除適期は乳熟期(出穂後10～15日頃)である。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要である。</p> <p>(5)紋枯病は、玄米千粒重や品質の低下を引き起こす要因となる。昨年度に発生が多かった圃場では特に注意し、発生を認めた場合には早期に防除を行う。</p>

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理
茨城県 (龍ヶ崎市)	5月6日	「コシヒカリ」 減数分裂期	「コシヒカリ」 2日早い (幼穂長からの 出穂期の予測)	<p>◇5月第2半旬～7月第3半旬は、平均気温は平年差+0.8℃、日照時間は平年比115%で推移した。</p> <p>◇7月 15 日時点の幼穂長は、103.5mm であった。今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、7月 26 日頃である。</p> <p>◇生育については、草丈が平年並、茎数がやや多く、葉色が濃い。</p> <p>◆今後の栽培管理 4月 27 日移植に準ずる。</p>

水 稻 の 生 育 状 況

(水田利用研究室)

表 1 4月27日移植 (龍ヶ崎市、移植後79日、7月15日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	96.8	98 (99.1)	108 (89.7)	525	97 (541)	94 (558)	4.6	+0.1 (4.5)	+0.6 (4.0)	37.6	-4.4 (42.0)	+2.2 (35.4)	13.0	+0.6 (12.4)	+0.6 (12.4)
ふくまるSL	92.6	96 (96.1)	104 (88.7)	578	107 (541)	106 (543)	4.4	±0 (4.4)	+0.8 (3.6)	34.4	-6.8 (41.2)	+0.6 (33.8)	14.0	+1.3 (12.7)	+0.9 (13.1)
コシヒカリ	90.6	98 (92.7)	103 (88.1)	477	100 (478)	93 (511)	4.2	+0.2 (4.0)	+0.8 (3.4)	35.6	-1.1 (36.7)	+4.4 (31.2)	13.2	+0.8 (12.4)	+0.4 (12.8)

表 2 5月6日移植 (龍ヶ崎市、移植後70日、7月15日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
コシヒカリ	87.4	95 (91.6)	98 (89.6)	572	115 (498)	112 (513)	4.1	+0.4 (3.7)	+0.8 (3.3)	33.3	-1.5 (34.8)	+2.3 (31.0)	12.6	±0 (12.6)	-0.1 (12.7)

注1) カッコ内の数値は前年または平年の実測値

注2) 栽培概要

1. 苗質: 稚苗

2. 植え付け本数: 5本/株

3. 基肥量:

あきたこまち N:P₂O₅:K₂O = 0.7:0.7:0.7(kg/a)

ふくまるSL N:P₂O₅:K₂O = 0.8:0.8:0.8(kg/a)

コシヒカリ N:P₂O₅:K₂O = 0.6:0.6:0.6(kg/a)

5. 栽植密度 (株/m²):

あきたこまち、ふくまるSL: 18.5

コシヒカリ: 15.2

6. 平年値: 平成29年~令和3年の5年間の平均値

ただし、ふくまるSLの平年値は、平成29年~令和2年はふくまるのデータを使用した。

4. 追肥時期および追肥施用量

(4月27日移植) あきたこまち 6月25日 N:K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)

ふくまるSL 6月25日 N:K₂O = 0.4 : 0.4 (kg/a)

コシヒカリ 7月1日 N:K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)

(5月6日移植) コシヒカリ 7月11日 N:K₂O = 0.3 : 0.3 (kg/a)

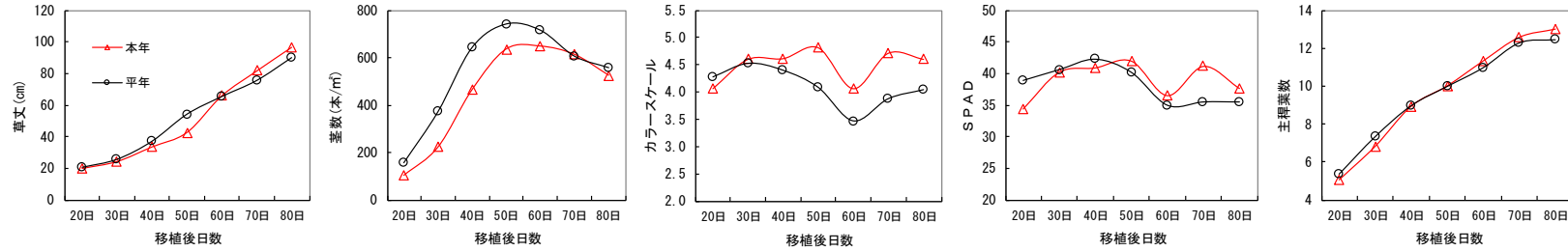
表3 出穂期および幼穂長からみた出穂期予測

移植時期	品種	調査日 (月/日)	主稈幼穂長		出穂期予測			出穂状況
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年 (月日)	平年※ (月日)	平年差 (日)	
4/27移植	あきたこまち	-	-	-	7/11	7/11	±0	出穂期確定
	ふくまるSL	-	-	-	7/15	7/15	±0	出穂期確定
	コシヒカリ	7/16	149.0	125.5	7/23	7/23	±0	
5/6移植	コシヒカリ	7/16	103.5	61.3	7/26	7/28	-2	

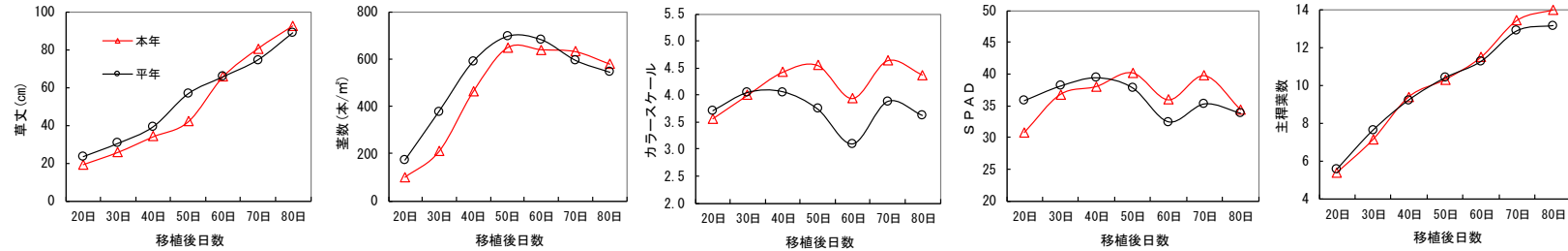
注) 予測は平成16、18年度主要成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づく
 幼穂が10cm以上の場合、「幼穂長と出穂前日数(星川)」に基づいて予測した
 今後気温が平年並に推移した場合の予測
 ※平年値は平成29年～令和3年の平均値

令和4年の生育経過グラフ

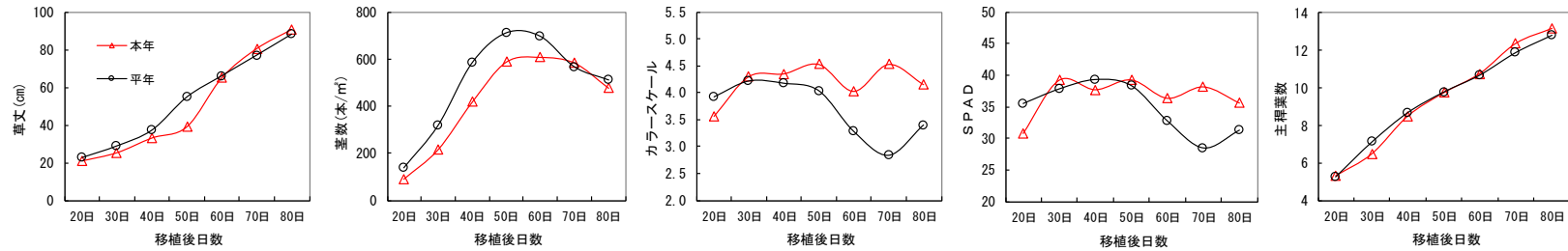
あぎたこまち
4月27日移植



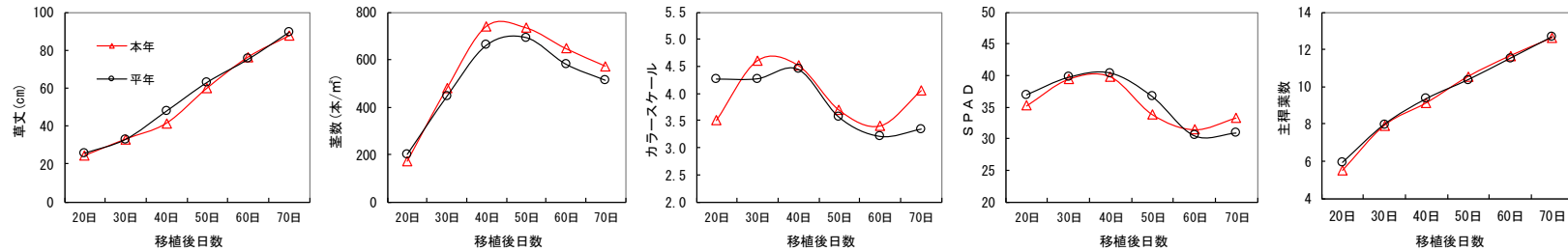
ふくまるS
4月27日移植



コシヒカリ
4月27日移植



コシヒカリ
5月6日移植



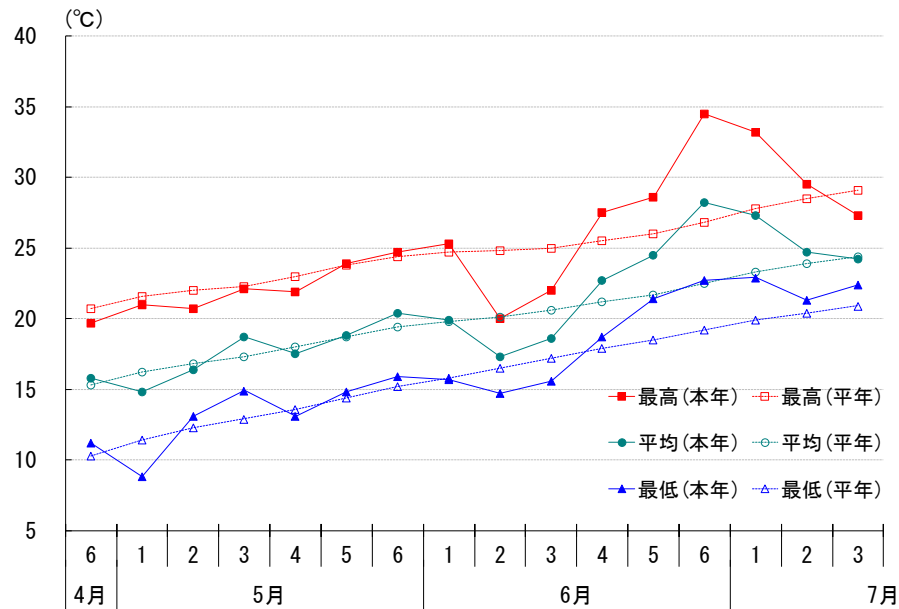


図1 半旬別気温の推移(龍ヶ崎市)

注) 平年値:平成29~令和3年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

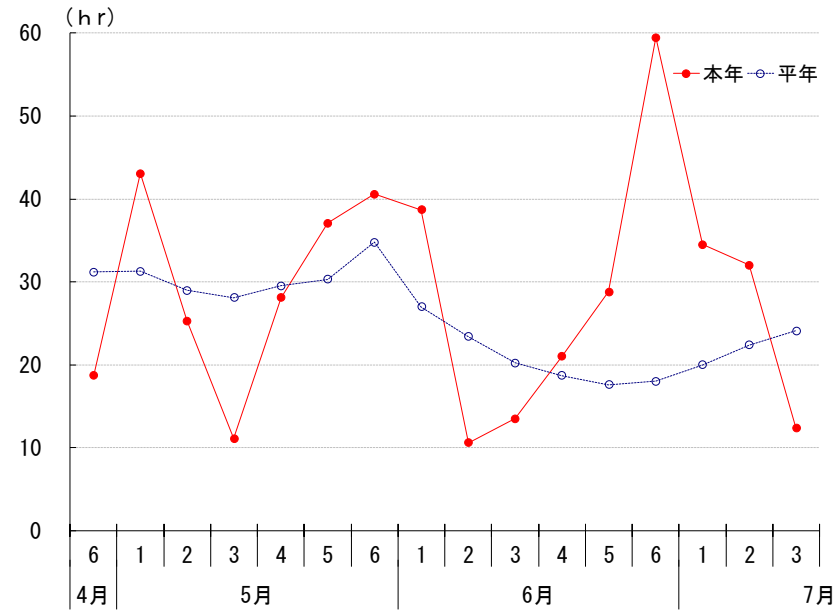


図2 半旬別日照時間の推移(龍ヶ崎市)

注) 平年値:平成29~令和3年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

表4 移植時期別気象条件(龍ヶ崎市)

移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
4月27日移植	4月第6半旬~7月第3半旬	20.6	20.0	+0.6	1669	1615	+54	455	406	112
5月6日移植	5月第2半旬~7月第3半旬	21.4	20.6	+0.8	1516	1458	+58	393	343	115

注) 平年値:平成29~令和3年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

【 4月27日移植の生育状況 】 撮影日:7/15

あきたこまち



ふくまる SL



コシヒカリ



【 5月6日移植の生育状況 】 撮影日:7/15

コシヒカリ

